

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	独立行政法人労働者健康安全機構		
事業所の名称	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院		
事業所の所在地	仙台市青葉区台原四丁目3番21号		
主たる事業	医療業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	地球環境の保全に貢献するため、以下の基本方針に基づきエネルギー使用量等の削減に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・職員の省エネルギーに対する意識の向上 ・エネルギー消費効率に優れた機器や設備の計画的な導入 ・環境物品等の調達推進 		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019年度	基準排出量	7,594 t-CO ₂	基準原単位	0.1556
		目標年度	2022年度	目標排出量	7,366 t-CO ₂	目標原単位
			削減率	3.00 %	削減率	3.02 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020年度	排出量	7,610 t-CO ₂	排出原単位	0.1559
			削減率	-0.22 %	削減率	-0.20 %
	排出量等の増減理由	暑夏や寒冬等の気象変動による稼働時間の増加によるA重油及び都市ガスの使用量の増加。また、自家発電使用量の増加による電気使用量の減少。				
	第2年度	2021年度	排出量	7,743 t-CO ₂	排出原単位	0.1586
			削減率	-1.97 %	削減率	-1.93 %
	排出量等の増減理由	猛暑や厳寒等気候異変による冷暖房設備の稼働時間の増加によるA重油及び都市ガスの使用量の増加、及び、電力と重油での発電の構成割合の変動による。				
	第3年度	2022年度	排出量	8,030 t-CO ₂	排出原単位	0.1645
		削減率	-5.75 %	削減率	-5.72 %	
排出量等の増減理由	猛暑や厳寒等気候異変による冷暖房設備の稼働時間の増加、及び設備の経年劣化による燃料(A重油及び都市ガス)への依存量、使用量の増加による。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	89 %	目標年度	100 %
	第1年度	89 %	実施状況の説明等	照明の交換時期にあわせ、高効率タイプの照明への交換を順次実施している。
	第2年度	96 %	実施状況の説明等	第1年度に引き続き、照明の交換時期にあわせ、高効率タイプの照明への交換を順次実施している(実施率12~13%)。また、各種研修会等において、省エネルギー教育(エコドライブを含む)を実施し、理解・意識の徹底を図った。
	第3年度	96 %	実施状況の説明等	・高効率タイプの照明への交換の順次実施。 ・各種研修会等における、省エネルギー教育の実施。

様式第2号別紙1

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	外部機関による省エネ診断		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	ボイラーの運転効率管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	外気冷房		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	圧縮空気系統の保全管理		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		実施済
	変圧器の負荷率管理		実施済
	デマンド管理		実施済
	負荷平準化		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	森林の保全・緑化の推進	定期的に敷地内の植栽の手入れを行い緑化を進めている	実施済
	グリーン調達の実施	環境物品等の調達を推進している	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	クールビズを実施している	実施済